

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成30年2月1日

事業所名 四国中央市東部・西部子どもホーム

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である				
	2	職員の配置数は適切である				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている				
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか			全職員会、月例企画会、毎日の職員会により広く職員が参画する複数のサイクルで実施。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			四国中央市障害児等審議会で運営審議し業務改善に努めている。	評価機関による外部評価は予算確保でき次第実施を予定したい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している			外部講師による研修会開催や、専門研修会等への参加のほか、自己研鑽のための図書を整備。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している				
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している				独自のアセスメントは行っているが、標準化されたアセスメントツールを使用していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている			毎日の職員会で活動プログラムを立案。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している			毎日の職員会で検討。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している			毎日の職員会で確認。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している			毎日の職員会で共有。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている			検証・改善が図れるよう記録の様式を工夫。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している			職員間で内容を共有したうえで、保護者との話し合いや、相談支援事業所との密な連携により判断。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている			年度始めに学校訪問して打ち合わせのうえ、ファクス等で随時情報を共有。情報をスムーズに共有できるように窓口担当者を設置。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている			市内共通の個別支援計画に基づいて連携。児童発達支援センターを併設し、各園が同じ福祉部内であり情報共有がしやすい。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			施設内に児童発達支援センターを併設しており、日頃から連携を密にしている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある				交流を検討する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			同課が所管する四国中央市子ども若者支援ネットワーク会議に参加。また、自立支援協議会に参加する同課職員と連携。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている				
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている				家庭での養育に関する保護者対象の研修会を予定。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている			事前に十分な説明の時間を設けている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている			日々面談しているが、定期的な面談も予定。職員の保護者支援スキル向上のための研修も検討。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している				保護者会等の開催を予定。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している			苦情解決措置体制を整え周知するほか、ご意見箱やSNS(メール)での受付も実施。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している			必要に応じてその都度、またはフェイスブックにより情報発信。	1月から会報「パレット・レター」を発刊(毎月予定)。
	35	個人情報に十分注意している			市職員研修に参加したり、マニュアルを設けて研修するなどして徹底。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている			生活福祉課の手話通訳体制等を活用。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			子育て支援の行事参入や、SNSを通して情報を発信。また、ボランティア受入要領を定めている。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している				保護者への積極的な周知や、児童の防犯学習支援を進める。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			講師を招いてのエビベン講習を実施。保護者との話し合いのもと、医療連携を職員間で確認。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか				